

平成20年9月9日
原子力安全対策課
(20-47)
<20時15分記者発表>

高速増殖原型炉もんじゅ 屋外排気ダクトの腐食孔の確認について

このことについて、日本原子力研究開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

高速増殖原型炉もんじゅ（定格電気出力28.0万kW）は停止中であるが、平成20年9月4日から、原子炉補助建物屋上にある屋外排気ダクト*¹について、外面腐食補修のため、鋼板塗装などの作業を行っていたところ、本日15時30分、腐食孔（横約2cm、縦約1cm）が発見された。

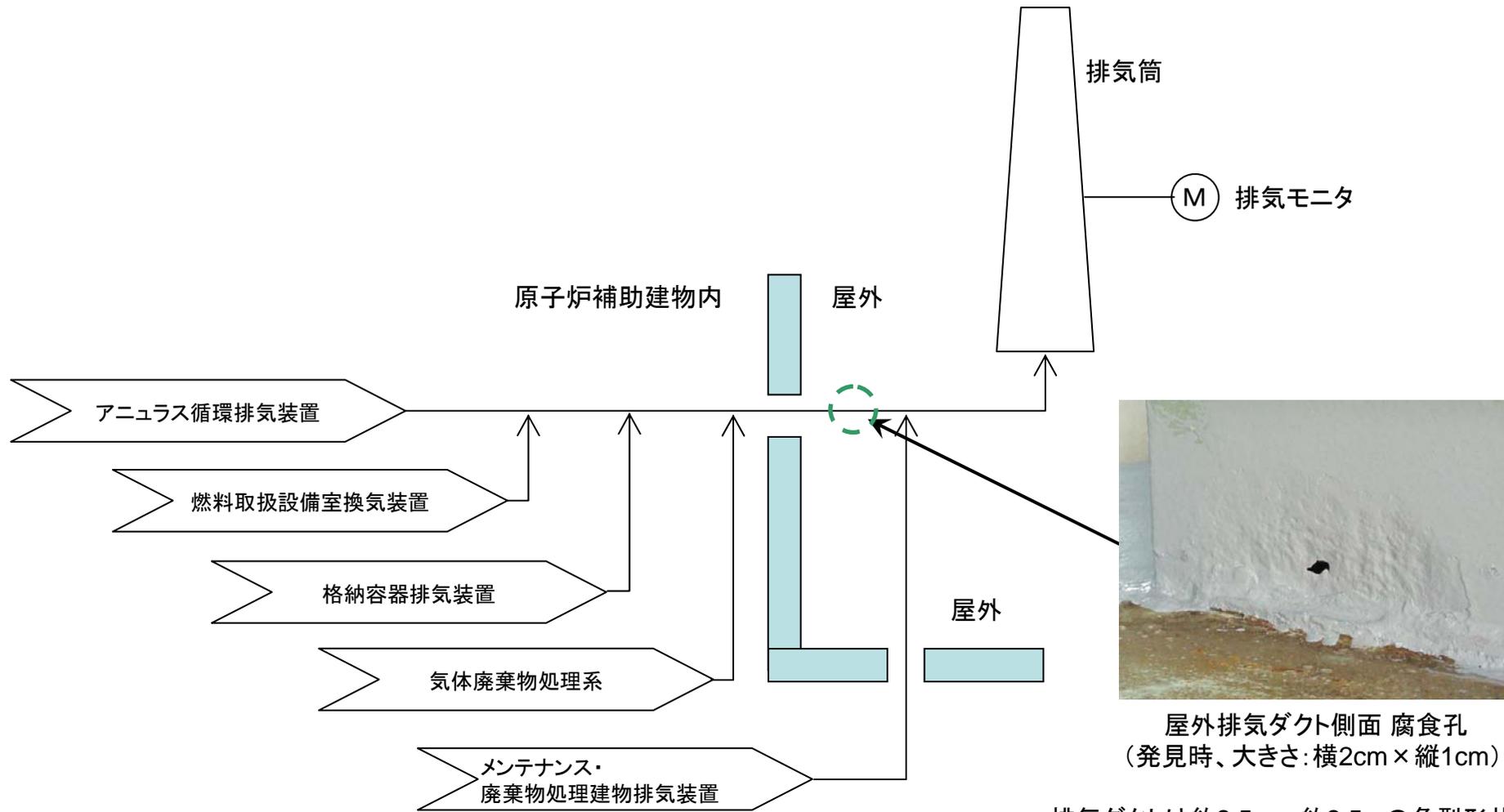
このため、応急処置として、15時40分にアルミテープにより腐食孔を塞ぎ、排気の漏れを止めた。

本事象による周辺環境への放射能の影響はない。

*1 管理区域内の排気を排気筒に導くための排気ダクト

本事象は、周辺環境への放射能の影響はないが、法令に基づき国に報告すべき事象と判断されたことから、県としても、安全協定に基づく異常事象として公表するものである。

問い合わせ先(担当：木下)
内線2357・直通0776(20)0314



排気ダクトは約2.5m×約2.5mの角型形状で、厚さは6mm、材質は炭素鋼

屋外排気ダクト 腐食孔について